

日本
共産党

八幡市議会 報告ニュース

2018年2月11日 No.633

日本共産党八幡市議会議員団(983)2005 市議団メール jcp-ywta@am.wakwak.com

くらしの相談 お気軽に

山本邦夫市議	982・8844
巖 博市議	982・9663
亀田優子市議	982・1277
中村正公市議	983・8312

八幡市

「高すぎて払えない」と悲鳴

国民健康保険料値下げへ

6月から5%値下げ 総額8000万円程度

八幡市は1日開かれた国保運営協議会で、来年度の国保料について説明、諮問しました。今年度に比べ5%、総額8000万円程度の値下げとなる見通しです。

年間41万円→37万円に

八幡市の国保料は、府下の市で最高額となっていました。4人家族で課税所得200万円(40歳以上の夫婦)の国保料は、現在、年間41万円になっており、課税所得の2割以上を占めています。今回の値下げで、37万円に下がります。値下げ率は9%です。日本共産党と市民の運動が実りました。

ただ、他の自治体でも値下げの動きがあり、府下最高額を返上できるかどうかは未定です。

国保料値下げなど5項目

1年前の組み替え動議実る

1年前の3月議会で日本共産党市議団は予算組み替え動議を提出しました。

内容は、①国民健康保険料の値下げ、②就学援助、入学準備金の入学前支給、③下水道料金の値下げ、④プラスチックごみの毎週回収、⑤医療費の窓口負担軽減—の5つです。残念ながら、市議会で予算組み替え動議に賛成したのは日本共産党の4人だけ。他の会派、無所属議員の方が賛成せず不採択となりました。市民の暮らしを守る市議会の役割が問われています。しかし、その後の論戦と運動などで、私たちが提起した5項目のうち、①~③の3つは実現しました。

残された2つの項目、プラスチックごみの毎週回収、医療費窓口負担の軽減については、今度の3月議会でしっかり論戦して、実現を迫ります。

議会の役割問われる

くらしの相談会

2月24日(土)18~20時

生涯学習センター会議室1

相談希望者は市議団にご連絡を
⇒075-983-2005

相談は無料です。

憲法を
考える
シリーズ④

憲法の平和原則のもとで、日本は第2次世界大戦以降、72年間、戦争をしていません。これは日本の誇りです。

でも世界を見ると、もっとすばらしい国々があります。北欧のスウェーデンは18世

若者への
メッセージ

紀から19世紀にかけてヨーロッパの覇権争いに参加していましたが、スウェーデンは1814年以来200年以上、他国と戦闘していません。その結果、世界に冠たる福祉国家に成長したのです。